

「花さき山」は、私が小学生の時、当時の校長先生が読み聞かせをして下さり、心に残っている絵本の一つです。自分のことより人のことを思ってよいことをすると、花が咲く。九小にも花を咲かせている人がたくさんいます。

<朝会で話した主な内容> テーマ：「自分らしい花を咲かせましょう」

皆さんを見ていると、うれしくなることがたくさんあります。

一つは、「廊下も道路と同じ」という話を心に留めて、走らないように気を付けている人がたくさんいること。二つには、目を合わせてあいさつしたり、声をかけたりしてくれる人がたくさんいること。どちらも自分だけでなく、周りの人のことを思って行動しているところが立派です。三つにはやさしい気持ちをもっている人がたくさんいることです。くわのみ学級で遠足に行ったら、坂道を上る1年生を応援したり、先に出発した1・2年生が学校に無事着いたか心配したりして、下の学年を思いやる姿がいろいろなところで見られました。

さて、桜の花びらは散ってしまいましたが、ある学級では自分たちのよいところを見つけて花に書き、学級の木にたくさんのお花を咲かせているそうです。絵本にも花さき山というお話があります。つらいのをしんぼうして、自分のことより人のことを思ってよいことをすると、そのやさしさと、けなげさが、花になって咲くというお話です。友達やお家の人、学級や学校など、誰かのためにできることを見つけて、みんなの力でたくさんのお花を咲かせることができれば素敵ですね。皆さんが、咲かせる花はどんな花でしょうか。自分らしい花を咲かせて、学級のよいところや九小のよいところも、校長先生にたくさん教えてください。

<感想>

- 1 花さき山という本は、読んだことがあるけど、もう一度読みたくなった。
- 2 いいところがあったら花に書いて、花を咲かせる取組を学校全体でやってほしい。
- 3 やさしさの花のことを言っていて、ぼくは、けがをしたときに友達が心配してくれたところが話したことと同じだと思いました。
- 4 この前、6年生が一人で遊んでいる1年生をさそって一緒に遊んでいて、6年生ってやさしいなあと思いました。人にやさしくする。それを見つけることも大切なんだと思い、いっぱい花を咲かせたいです。
- 5 もう桜は落ちてしまったけど、自分でいいことをしたり、人のいいところを探したりして、言葉の桜を咲かせるようがんばりたいです。
- 6 自分自身の花を咲かせて、大切にしようと思った。
- 7 一人一人が花を咲かせようと思う心が大事だと思う。みんなが花を咲かせるような学校にしてみたい。
- 8 4月、自分を75点とつけたいです。よくできたことは、あいさつです。校長先生の言っていたとおり、目と目を合わせてできました。このことが、私の中の花です。今月は、もっと花が満開になりたいです。
- 9 4月にあいさつをがんばりました。いろいろな先生と廊下で会ったとき、自分からあいさつをするように心がけました。5月には、友達にも自分からあいさつができるようがんばりたいです。
- 10 くわのみさんの思いやりの心はとてもきれいで、お花がたくさん咲いていると思います。私もそんな風に、思いやりの心もちたいです。
- 11 やさしさの花のことで、九小ではその花がたくさん咲いてほしいと思った。思いやりも増えてほしいと思った。
- 12 新しい学年になって不安もあるけど、やさしさがあれば、お互い思いやりの気持ちでいっぱいになると考えました。もっと、人にやさしくしたいと思いました。
- 13 お話の中心は、人に親切にふるまい、新たな花を咲かせることです。私は、その話を聞いて花をたくさん咲かせたいと思いました。だから人に親切にふるまっていこうと思います。
- 14 お話の中心は、「親切の花のこと」でした。その話を聞いて、「ぼくたちのクラスのことだ」と思いました。だから、これからも人のよいところを書いていこうと思います。